

## 機能変更のお知らせ

### DP2 Merrill (ファームウェアバージョン 1.04)

本製品は、ファームウェアのバージョンアップ(ファームウェアバージョン 1.04)により、以下の機能が追加・変更となります。(ファームウェアバージョン 1.04 で追加された項目に (Ver.1.04) と記しています。)

#### 1. カラーモードに「FOV Classic Blue」を追加しました。

カラーモード (P.72) に、深みのある青色を表現し、印象的な青空を再現する FOV Classic Blue モード「Fov B.」を追加しました。

#### 2. RAW / RAW+JPEG で B/W (白黒) を選択出来ます。(Ver.1.04)

カラーモード (P.72) の B/W(白黒)で撮影された RAW データは、SIGMA Photo Pro ではモノクロームモードとして開かれます。また、SIGMA Photo Pro でカラー画像に戻すこともできます。(JPEG データはカラー画像には戻せません。)

ご注意!!

●SIGMA Photo Pro は Ver.5.5以降がモノクロームモードに対応しています。弊社ウェブサイトより最新版をダウンロードしてご使用ください。

<http://sigma-dp.com>

●使用説明書では、「B/W(白黒)は JPEG (FINE, NORM, BASIC) の時のみ設定可能」とありますが、RAW および RAW+JPG 時にも設定可能となっています。

#### 3. ISO 感度ステップの設定

ISO 感度の設定は、通常 1 段ステップですが、1/3 段ステップに変更することができます。

「 撮影設定」(P.28) → 「ISO 感度ステップ」より設定します。

1 段 (初期設定)	ISO 感度を 1 段ステップで設定できます。
1/3 段	ISO 感度を 1/3 段ステップで設定できます。

1/3 段に設定した場合に、設定できる ISO 感度は、以下のようになります。

ISO AUTO	ISO 250	ISO 800	ISO 2500
ISO 100	ISO 320	ISO 1000	ISO 3200
ISO 125	ISO 400	ISO 1250	ISO 4000
ISO 160	ISO 500	ISO 1600	ISO 5000
ISO 200	ISO 640	ISO 2000	ISO 6400

●「1/3 段」セットした場合、ISO オート範囲設定の下限、上限の設定値も 1/3 段ステップで設定できます。

#### 4. ISO オート範囲設定

ISO オートにおける ISO 感度の下限、および上限を設定することができます。

1 「 撮影設定」(P.28) → 「ISO 感度」→ 「ISO オート」を選択し、▶ ボタンを押して ISO オート範囲設定画面を表示させます。「ISO オート」を選択した後に、 ボタンを押すと、前回の設定値がセットされます。

2 「下限」、「上限」をそれぞれ設定します。

下限

ISO 100	ISO 200 (初期設定)	ISO 400
---------	----------------	---------

上限

ISO 200	ISO 800 (初期設定)	ISO 3200
ISO 400	ISO 1600	ISO 6400

ご注意!!

下限と上限が同じ値、もしくは逆転した値をセットすることはできません。

#### 5. クイックセットメニューがさらに使いやすくなりました。

クイックセットメニューから、「ホワイトバランス画像の取り込み」「ISO オート範囲の設定」「インターバルタイマーの設定」ができるようになりました。

##### ホワイトバランス画像の取り込み

クイックセットメニュー (P.35) のホワイトバランスの項目から「」を選択し、 ボタンを押して、カスタムホワイトバランス取り込み画面を表示させます。「」を選択した後に、 ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回取り込まれた設定値で撮影されます。

#### ISO オート範囲の設定

クイックセットメニュー (P.35) の ISO 感度の項目から「ISO AUTO」を選択し、 ボタンを押して ISO オート範囲設定画面を表示させます。「ISO AUTO」を選択した後に、 ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値がセットされます。

#### インターバルタイマーの設定

クイックセットメニュー (P.35) のドライブモードの項目から「」を選択し、 ボタンを押してインターバルタイマー設定画面を表示させます。「」を選択した後に、 ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値がセットされます。

クイックセットメニューに、調光補正を割り当てることができるようになりました。

「 カメラ設定」(P.28) → 「QS カスタム設定」(P.37) より設定してください。

ご注意!!

調光補正は、フラッシュを取り付けていない状態、もしくはフラッシュの電源が OFF の状態ではご使用になれません。

#### 6. 顔優先 AF モード

(Ver.1.04)

DP2 Merrill は、人物の顔を検出した際に優先的にピント合わせを行う、顔優先 AF モードを追加しました。

「 撮影設定」(P.28) → 「顔優先 AF モード」→ 「入」を選択します。(通常の AF モードが、顔優先 AF モードに切り替わります。)



または ボタンを押し、AEL ボタンを押すと顔優先 AF モードの ON/OFF の切り替えができます。



画面内に顔が検出されると、オレンジ色の顔検出フレームが表示されます。

シャッターボタンを半押しし、検出された顔にピントが合うと、顔検出フレームが緑色に変わります。

●顔検出モードでは、検出した顔に重点を置いた評価測光に切り替わります。

●顔検出機能は画面内の最大 8 人までの顔を検出し、一番近い位置と思われる顔を優先し顔検出フレームを表示します。

ご注意!!

●MF モードが選択されている時は、顔優先モードにセットすることができません。

●以下の状況では、顔の検出ができない場合があります。

- サングラスや帽子などで顔の一部がさえぎられている場合。
- 顔の向きが正面ではない場合。
- ピントが大きくずれている場合。
- 被写体までの距離が遠い、または近すぎる場合。

●顔の検出ができない場合は、選択されているフォーカスフレームでピントが行われます。

#### 7. 速度優先 AF

オートフォーカス動作中のライブビューを停止させ、より高速なオートフォーカスを可能にする、速度優先 AF 機能を追加しました。

「 撮影設定」(P.28) → 「速度優先 AF」→ 「入」を選択します。(通常の AF モードが、速度優先 AF モードに切り替わります。)

ご注意!!

オートフォーカス動作中は、ライブビューを停止させるため、シャッターボタンを半押ししてからオートフォーカスの動作が終了するまで、静止画像が表示されます。

●通常の AF モードに戻したい場合は、「 撮影設定」(P.28) → 「速度優先 AF」→ 「切」を選択してください。

#### 8. その他の変更点

●液晶モニタの表示を「アイコン非表示」にした場合でも、フォーカスフレームが表示されるようになりました。

●「中央 AFL」「中央 AFL + AEL」(P.67) を割り当てた AEL ボタンを押した際でも、AF+MF モード (P.51) が機能するようになりました。